



2026年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年9月16日

上場会社名 アスкул株式会社 上場取引所 東
コード番号 2678 URL <https://www.askul.co.jp/corp/investor/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 吉岡 晃
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 玉井 継尋 (TEL) 03-4330-5130
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第1四半期の連結業績(2025年5月21日～2025年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第1四半期	122,324	3.3	1,053	△59.1	938	△62.6	344	△77.7
2025年5月期第1四半期	118,384	4.7	2,574	△8.9	2,510	△8.0	1,544	△10.7

(注) 包括利益 2026年5月期第1四半期 426百万円(△73.7%) 2025年5月期第1四半期 1,623百万円(△9.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第1四半期	3.73	3.69
2025年5月期第1四半期	16.08	16.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第1四半期	233,128	73,486	30.0
2025年5月期	227,782	81,254	34.2

(参考) 自己資本 2026年5月期第1四半期 70,022百万円 2025年5月期 77,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2026年5月期	—				
2026年5月期(予想)		19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の連結業績予想(2025年5月21日～2026年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	500,000	3.9	11,000	△21.5	10,500	△24.0	6,600	△27.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年5月期1Q	94,771,300株	2025年5月期	94,771,300株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年5月期1Q	5,241,900株	2025年5月期	1,245,700株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年5月期1Q	92,408,211株	2025年5月期1Q	96,059,257株
------------	-------------	------------	-------------

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
販売費及び一般管理費の明細（連結）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年5月21日から2025年8月20日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下でインバウンド需要の増加等もあり、景気は穏やかな回復基調で推移しております。一方、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰および世界的な金融政策の不確実性による影響が懸念され、通商政策などのアメリカの政策動向が個人消費に及ぼす影響等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2025年7月に公表しました中期経営計画（2026年5月期～2029年5月期）の目標達成に向け、リテール事業の再成長と新たな価値提供領域の確立を掲げ施策を進めております。

2026年5月期においては、関東圏の物流センターの再編に係る固定費の増加や一時的な費用の発生等もあり、前連結会計年度から増収減益を計画しておりますが、2027年5月期のV字回復に向けた重要な転換期として、お客様数の回復による売上高の再成長および物流センター再編による更なる物流効率化を着実に進めております。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高1,223億24百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益10億53百万円（前年同期比59.1%減）、経常利益9億38百万円（前年同期比62.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億44百万円（前年同期比77.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、以下のとおりです。

<eコマース事業>

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	116,282	120,249	+3,967	+3.4%
ASKUL事業	88,373	91,003	+2,629	+3.0%
LOHACO事業	9,585	10,100	+515	+5.4%
グループ会社・内部取引消去	18,323	19,145	+822	+4.5%
営業利益	2,565	1,064	△1,501	△58.5%

（注）売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間のeコマース事業については、売上高は、1,202億49百万円（前年同期比3.4%増）とASKUL事業を中心に堅調に伸長し、為替ポジションの改善等により売上総利益率が改善しました。一方、期初計画通りではありますが、2025年6月に稼働した「ASKUL関東DC」に係る減価償却費等の固定費の増加影響もあり、営業利益は10億64百万円（前年同期比58.5%減）となり、増収減益となりました。

売上高、営業利益の状況は、主に以下のとおりです。

①売上高

a. ASKUL事業

- ・従来型オフィス用品（オフィス家具、インクやトナー、文具など）に対する需要は伸び悩むも、生活用品、MRO（注）は堅調に推移し、前年同期比3.0%の伸長
- ・お客様数は法人向けの販促効果もあり中堅大企業は伸長し中小企業所は改善トレンドが継続した一方、法人以外は減少
- ・中小企業所向け売上高は需要回復遅れによる購買金額に伸び悩みも、中堅大企業向け売上高は堅調に推移

b. LOHACO事業

- ・LINEヤフー株式会社と連携した販促施策の効果や備蓄米の販売が寄与し、前年同期比5.4%の伸長

c. グループ会社・内部取引消去

- ・株式会社アルファパーチェスの売上高が堅調に推移し、前年同期比4.5%の伸長

②営業利益

営業利益は、10億64百万円と前年同期比で15億1百万円減少しておりますが、主に売上総利益率が25.1%と前年同期比で1.1ポイント改善した一方、固定費が増加した影響等により販管費比率が24.2%と前年同期比で2.5ポイント増加したことによるものであり、内容は以下のとおりです。

- ・コピーペーパー等の輸入商品について、為替影響により仕入原価が低減し、売上総利益率が改善
- ・一箱あたりの売上単価が改善することにより配送費を逓減するも、「ASKUL関東DC」の立ち上げ影響もあり売上高配送費比率は一時的に悪化
- ・2025年6月の「ASKUL関東DC」の稼働により、立ち上げに係る一時コストや減価償却費等の固定費が発生（合計11億53百万円）

<ロジスティクス事業>

ASKUL LOGIST株式会社の当社グループ外の物流業務受託の売上高は増収となりましたが、業務外注費を始めとした費用増加を吸収するまでには至らず、減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19億12百万円（前年同期比2.0%増）、営業損失は33百万円（前年同期は営業損失25百万円）となっております。

<その他>

婦恋銘水株式会社での飲料水の販売が猛暑の影響もあり堅調に推移しておりますが、前年同期において倉庫の移転に伴う在庫商品の一括販売による売上高増加影響があったこともあり、減収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5億40百万円（前年同期比23.2%減）、営業利益は18百万円（前年同期比82.5%減）となっております。

（注）Maintenance, Repair and Operationsの頭文字をとった略称で、工場・建設現場・倉庫等で使用される消耗品・補修用品等の間接材全般を指します。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,331億28百万円となり、前連結会計年度末と比べ53億46百万円増加いたしました。これは主に、「ASKUL関東DC」の稼働によりリース資産が122億21百万円、ソフトウェアが35億48百万円、建物及び構築物が23億4百万円、未収入金が19億18百万円増加した一方、建設仮勘定が111億96百万円、ソフトウェア仮勘定が34億40百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が15億82百万円減少したことによるものであります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,596億42百万円となり、前連結会計年度末と比べ131億14百万円増加いたしました。これは主に、リース債務が132億77百万円増加したことによるものであります。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は734億86百万円となり、前連結会計年度末と比べ77億68百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益3億44百万円の計上に対して、自己株式の取得等により自己株式が62億19百万円増加（純資産は減少）、配当金の支払いが17億76百万円あったことにより、利益剰余金が14億32百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は30.0%（前連結会計年度末は34.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,423	48,795
受取手形、売掛金及び契約資産	59,870	58,288
商品及び製品	22,909	23,489
原材料及び貯蔵品	559	230
未成工事支出金	70	51
未収入金	14,300	16,219
その他	3,638	4,512
貸倒引当金	△21	△17
流動資産合計	149,752	151,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,295	12,785
減価償却累計額	△5,683	△5,868
建物及び構築物（純額）	4,612	6,917
土地	257	257
リース資産	32,279	45,672
減価償却累計額	△17,777	△18,948
リース資産（純額）	14,501	26,723
建設仮勘定	11,435	238
その他	13,100	14,047
減価償却累計額	△9,859	△10,172
その他（純額）	3,240	3,874
有形固定資産合計	34,047	38,011
無形固定資産		
ソフトウェア	14,556	18,104
ソフトウェア仮勘定	5,524	2,084
のれん	4,783	4,644
顧客関連資産	7,020	6,889
その他	10	11
無形固定資産合計	31,895	31,733
投資その他の資産		
投資有価証券	100	100
繰延税金資産	4,566	4,341
その他	8,165	8,110
貸倒引当金	△745	△737
投資その他の資産合計	12,086	11,815
固定資産合計	78,030	81,559
資産合計	227,782	233,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,482	58,460
電子記録債務	21,660	21,834
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	6,096	5,951
未払金	12,342	12,284
未払法人税等	578	544
未払消費税等	398	510
引当金	438	690
その他	6,594	7,922
流動負債合計	106,972	108,578
固定負債		
長期借入金	13,735	13,104
リース債務	12,651	24,561
退職給付に係る負債	5,001	5,077
資産除去債務	2,941	3,278
繰延税金負債	2,394	2,350
その他	2,830	2,690
固定負債合計	39,555	51,063
負債合計	146,527	159,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,233	21,233
資本剰余金	14,934	14,833
利益剰余金	43,393	41,960
自己株式	△1,989	△8,209
株主資本合計	77,572	69,818
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	216	204
その他の包括利益累計額合計	216	204
非支配株主持分	3,466	3,463
純資産合計	81,254	73,486
負債純資産合計	227,782	233,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年8月20日)
売上高	118,384	122,324
売上原価	90,406	92,011
売上総利益	27,977	30,312
販売費及び一般管理費	25,402	29,258
営業利益	2,574	1,053
営業外収益		
受取利息	17	56
助成金収入	3	4
保険配当金	16	20
その他	14	14
営業外収益合計	51	95
営業外費用		
支払利息	98	157
その他	17	53
営業外費用合計	115	210
経常利益	2,510	938
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取損害賠償金	6	-
その他	-	0
特別利益合計	6	1
特別損失		
固定資産除却損	9	4
投資有価証券評価損	50	-
その他	3	0
特別損失合計	63	4
税金等調整前四半期純利益	2,454	935
法人税、住民税及び事業税	367	311
法人税等調整額	455	185
法人税等合計	823	497
四半期純利益	1,631	438
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	94
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,544	344

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年8月20日)
四半期純利益	1,631	438
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△8	△12
その他の包括利益合計	△8	△12
四半期包括利益	1,623	426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,536	332
非支配株主に係る四半期包括利益	86	94

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月18日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において、自己株式3,992,600株の取得を行いました。この結果、自己株式が6,219百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が8,209百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
	eコマース 事業	ロジスティクス 事業	計				
売上高							
ASKUL事業	88,373	—	88,373	—	88,373	—	88,373
LOHACO事業	9,585	—	9,585	—	9,585	—	9,585
グループ会社 ・内部取引消去	18,323	—	18,323	—	18,323	—	18,323
ロジスティクス事業	—	1,875	1,875	—	1,875	—	1,875
その他	—	—	—	226	226	—	226
顧客との契約から 生じる収益	116,282	1,875	118,157	226	118,384	—	118,384
外部顧客への売上高	116,282	1,875	118,157	226	118,384	—	118,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	477	477	△477	—
計	116,282	1,875	118,157	703	118,861	△477	118,384
セグメント利益 又は損失(△)	2,565	△25	2,540	106	2,647	△72	2,574

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△72百万円は、セグメント間取引消去△72百万円になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年5月21日 至 2025年8月20日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
ASKUL事業	91,002	—	91,002	—	91,002	—	91,002
LOHACO事業	10,100	—	10,100	—	10,100	—	10,100
グループ会社 ・内部取引消去	19,144	—	19,144	—	19,144	—	19,144
ロジスティクス事業	—	1,912	1,912	—	1,912	—	1,912
その他	—	—	—	163	163	—	163
顧客との契約から 生じる収益	120,248	1,912	122,160	163	122,324	—	122,324
外部顧客への売上高	120,248	1,912	122,160	163	122,324	—	122,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	377	378	△378	—
計	120,249	1,912	122,161	540	122,702	△378	122,324
セグメント利益 又は損失(△)	1,064	△33	1,031	18	1,049	3	1,053

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額3百万円は、セグメント間取引消去3百万円になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんおよび顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額および顧客関連資産償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年8月20日)
減価償却費	2,459百万円	3,062百万円
のれんの償却額	134	139
顧客関連資産償却費	130	130

3. その他

販売費及び一般管理費の明細（連結）

科目	前第1四半期 連結累計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年8月20日)			(参考) 前期 2025年5月期 (自 2024年5月21日 至 2025年5月20日)	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
人件費 ※1	6,250	5.3	7,037	5.8	112.6	25,148	5.2
配送運賃	5,591	4.7	6,010	4.9	107.5	21,347	4.4
業務外注費 ※2	1,420	1.2	1,652	1.4	116.4	6,247	1.3
業務委託費	2,839	2.4	3,066	2.5	108.0	11,685	2.4
地代家賃	3,103	2.6	3,206	2.6	103.3	12,508	2.6
貸倒引当金繰入額	2	0.0	△3	△0.0	－	△16	△0.0
減価償却費 ※3	1,056	0.9	1,539	1.3	145.6	4,328	0.9
ソフトウェア償却費 ※4	1,258	1.1	1,391	1.1	110.6	5,053	1.1
その他諸経費 ※5	3,880	3.3	5,357	4.4	138.1	17,231	3.6
合 計	25,402	21.5	29,258	23.9	115.2	103,534	21.5

- ※1 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の人件費が増加しておりますが、主な要因は、期末決算賞与に係る引当金等の計上による影響であります。
- ※2 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の業務外注費が増加しておりますが、主な要因は、基幹システムリプレイスに伴う費用発生による影響であります。
- ※3 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が増加しておりますが、主な要因は、「ASKUL関東DC」の稼働による影響であります。
- ※4 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間のソフトウェア償却費が増加しておりますが、主な要因は、基幹システムリプレイスによる影響であります。
- ※5 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間のその他諸経費が増加しておりますが、主な要因は、「ASKUL関東DC」の稼働に伴う費用発生およびASKUL事業におけるカタログ新規発行による影響であります。